

幼稚園の入園料・保育料、子ども園の保育料の無料化並びに預かり保育時間の延長を行います。



学校施設・設備の充実

鬼鹿小学校の改築について、平成29年度着工に向けての実設計費を計上していますが、魅力ある「学び舎」の整備に向けて、地域、学校関係者や議会の皆様方と協議しながら進めます。

社会教育の推進

少子化への歯止め、高齢者の健康寿命伸長等を目指し、ふるさとの活性化を創造するため、子育て支援策や高齢者の健康づくり対策、文化施設等の有効活用策など、町部局や関係機関と密に連携した社会教育の推進が求められています。

ます。

このようなことも踏まえ、昨年度よりスタートしている「第6次社会教育中期計画」の確実な推進を目指し、文化的・歴史的各種資産を有効活用しながら、「地域をあげて子供を育てる環境づくり、支え合う協働の学びの場づくり、芸術・文化に集う人づくり、世代をこえて楽しめる生涯スポーツの振興」を図るべく、町民一人ひとりの学習活動の支援、場の提供を行います。

地域をあげて子供を育てる環境づくり

若い母親が安心して子育てができる環境づくりを目的として、情報交換や交流の場等を提供する「うちの子一番クラブ」、「子育てサロン」の充実を図ります。

姉妹都市「東京都小平市」との「青少年交歓交流事業」は、相互交流によりお互いのまちを理解し、広い見識が身に付く、社会体験事業であるので、今後も多くの子供たちが参加しやすい環境を整えます。「人と人との交流は、あいさつから始まる」、あいさつ

がこだまする町を目指し、小学生から募集した「あいさつ運動」の標語、シンボルマークの啓発旗を作成・配布し運動の定着に努めます。



支え合う協働の学びの場づくり

「生涯学習リーダーバンク」の指導者登録の整備を進め、社会教育事業等での活用度を高めるとともに、学校地域支援本部事業として、学校での技術指導の活用を促進し、地域全体で学校を支援する体制整備に努めます。

芸術・文化に集う人づくり

先人の歴史や文化を知る郷土資料については、貴重な町の財産として収集資料の適正管理に努め、子供たちにも

「ふるさと小平」の成り立ちに興味を示してもらおうよう、各種事業展開に努めます。

特に、本年度は重要文化財「旧花田家番屋」での宿泊体験等、直接、歴史・文化に触れることにより、先人の苦勞や偉大さを体験し、子供たちの成長を助長するような事業を展開します。

また、「鬼鹿松前神楽保存会」等の団体への支援に努め、新たに天応寺所有の「本尊阿弥陀如来半跏像及び両脇侍座像」並びに「龍図天井画」の2点を町有形文化財として指定します。



世代をこえて楽しめる生涯スポーツの振興

管内で唯一海洋スポーツ体

験施設を有しており、町内外の子ども達等の研修授業としても活用されていることから、今後も近隣宿泊施設との連携のもと利用の拡大に努め、子ども達の野外教育活動の場として貴重な存在である安全で楽しい生涯スポーツの一つとなるようスキー場の管理運営に努めます。



おわりに

以上、平成28年度教育行政の執行方針を述べましたが、その執行にあたっては、町長ともよく連携を図り「すべては、子どもたち一人ひとりのために」を基本として、なお一層本町教育の充実・発展に努めますので、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願いたします。